

# サイコロ

ISHIKAWA MERIYASU MAGAZINE

Special Feature

## “ニットの可能性”



**Column**

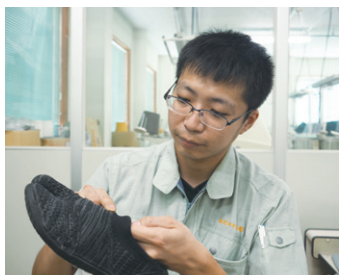
ニットのプリーツマスク

**News**

石川メリヤス × uzu 残糸プロジェクト



1.



2.



3.



4.

## 画期的なニットシューズ hitoeができるまで

どんな形の製品でも丸ごと立体的に自動で編み上げることができる、島精機製作所のホールガーメント横編機（SWG）。他社に先駆けてその小型機種を石川メリヤスが導入したのは2005年のことでした。

SWGはニットの可能性を最大化できる世界最先端の編機です。しかし、導入後の数年は「すごいオモチャ」に過ぎませんでした。高品質の作業用手袋や五本指靴下の大量生産に強みを持つ工場として、この機械で何ができるのかをつかみ切れなかったからです。自社が得意とする技術を生かして、なおかつお客様にとって最適な生産方法であること。そのベストマッ

チを探し続けて来ました。

最近ベストマッチの案件が増えています。その代表例が丸五（岡山県倉敷市）のトレーニングシューズ「hitoe」。ホールガーメントの特徴である立体編みと、加熱によって糸内部の樹脂が溶け固まる熱融着糸の特性を生かして実現したニットシューズです。丸五の宇佐美彰規さんは、hitoeの特長は「いままでにないフィット感とホールド感」にあると説明します。

「他のニットシューズは、シート状のアップパーを裁断し、袋縫いで成形しています。そのため縫製部分に角ができて、靴の中にスペースができてしまいます。一方のhitoeは編み上がり1枚をそのまま定型。靴の製法では画期的な方法であり、靴の中にスペースが生まれません。また、無縫製アップパー内で編み

密度の濃淡をつけることで、甲部や踵部のホールド感を増しています」

実は、石川メリヤスには5年ほど前にもSWGでの無縫製ニットシューズの開発に携わった経験があります。手袋や靴下など、袋状の製品の安定生産には自信があったのです。しかし、製品として世に出すまでには至りませんでした。社長の大宮裕美は、かつて失敗したからこそhitoeの生産に魅力を感じたと振り返ります。

「アップパーを型に入れて固めたり、ソールをつけたり。私たちには靴作りの肝となるノウハウがありません。hitoeは、地下足袋の老舗メーカーである丸五と島精機が組んで開発したものの生産を引き継ぎました。世に出る製品に携われるチャンスです。『hitoeは自分の子どものようなだ』という宇佐

### 1. 足が持つ力を最大に引き出す足袋型トレーニングシューズ「hitoe」

ホールガーメント横編機で立体的な袋状に編むことで無縫製アッパーを実現。丸五と鳥精機製作所が開発し、石川メリヤスは生産段階から参加した。

### 2. hitoe の生産に携わっている石川メリヤスの磯村圭祐工場長

「丸五の宇佐美さんは指示が明確なのでとてもやりやすいです。それを実現し、不良を少なく効率的に量産できる方法を工夫しています。」

### 3. 生産効率を上げるための小さな治具

hitoe に使う熱融着糸は撚りが強く、編機内で引っかかり切れてしまいがち。左は糸を通しながら滑らかにする治具。小さな改良が不可欠だ。

### 4. hitoe の無縫製アッパーを編み立てるSWG

袋状製品の多品種生産に長けている石川メリヤス。ホールガーメント横編機 (SWG) も針を運ぶ装置を微調整することなどで不良率を下けている。

hitoe ヒトエ公式サイト  
<https://hitoe-marugo.jp/>

丸五公式オンラインショップ  
<https://marugo-online.jp>  
hitoe 商品ページ  
<https://marugo-online.jp/shop/e/e901005/>

美さんの熱意にも共感しました」

協業するためには、お客様の熱量と一貫性が必要だというのは大宮の持論です。「何がやりたいのか」「どこをどのように改良したいのか」がわかると、石川メリヤスもそれに合わせて動くことができます。

「工場同士が協業する際は、お互いの工程を見ることが大切だと改めて感じています。例えば、丸五さんの後工程を見ることで、ぴったり合ったアッパーを作るためにはラスト(木型)を借りることが必須だと知りました」

一方の宇佐美さんは「協業においてはコンセプトの共有が最重要」と説き、何度も石川メリヤスを訪れています。SWG、各工場の特長、そしてモノづくりへの情熱。3者の組み合わせがニットの可能性を広げていくのです。

## ニットの の プリーツマスク

優れた他社との協業 (OEM 生産) によってニットの可能性追求を目指す石川メリヤスですが、自社開発も行っています。現在、ヒット中なのが SWG で製造するプリーツマスクです。

マスクの息苦しさを解消するためには、一般的な使い捨てマスクのようにプリーツ構造にするのが理にかなっています。社内での議論の末に行きついたのが自社製品であるスノード (環状のマフラー) の応用です。生地に凹凸が出るような編み方でそのままプリーツ構造になっています。

ただし、このままではマスクになりません。上部・顎・両サイド・ヒモの部分を伸縮性の高い素材にしないと隙間ができてしまうからです。その部分には伸縮性の高いFTY (Filament Twisted Yarn) という糸を入れ、サイズを細かく調整して編成データを作成しました。

こうして完成したのがニットのプリーツマスク。顔の大きさや形に合わせて美しくフィットします。本体からヒモまで、完全無縫製の一体型ニットマスクなので、縫い目が肌に当たらず、耳も痛くなりにくいのも特徴です。

ニット製品なので繰り返し洗うことができ、何度洗濯してもプリーツ型が崩れることはありません。100%自社工場生産・包装・発送をしている安心安全の日本製です。



ニットのプリーツマスクは、シルクとコットンの2種類。  
石川メリヤスオンラインショップで好評発売中です。  
<http://ishimeri.net/>



## News

### 石川メリヤスの倉庫に眠る残糸を再活用 uzuのスヌードポンチョができました

西三河地方の西尾市吉良町に位置する石川メリヤス。作業用手袋をはじめ、ニット小物なら何でも作れるという気概を持ち、多品種小ロットで生産をしています。多種多様な糸を使うため、使い切れずに倉庫に保管したままの糸も少なくありません。

これらの残糸を使った「アップサイクル」の商品を企画してくれたのが、お隣の一色町にあるお店uzuです。通常は草木染めの商品作りで全国的に人気のアパレルブランドですが、新たに「MOTTaiiNA (モッタイナ)」ブランドを立ち上げました。その第一弾がスヌードポンチョです。

「染色工程を省く分、当店のラインナップとしては価格を抑えて展開します。大きいスヌードですが、軽く触り心地良く出来上がりました。新たな価値を提供できそうです」(オーナーの青木淳さん)

商品詳細と購入方法はuzuのオンラインショップ [uzu-japan.com](http://uzu-japan.com) をご覧ください。



### かかトがツルツルになる大ヒット靴下 ラブヒールのグレーが新しくなりました

温潤靴下のラブヒール。1993年の開発以来、根強い人気を誇る石川メリヤスのロングセラー商品です。空気をたっぷり含んで断熱効果のあるアウター。セラミックを練り込んだ特殊糸で遠赤外線温熱効果を得られるインナー。かかと部分には保湿シート。それらを重ねて縫い合わせる独自製法で生産しています。つま先付近に縫い目が残らない横編機で作っているため靴を履いても違和感がありません。

ラブヒールは全12色で展開しています。2020年の秋冬は定番のグレーを、ソリッドカラー(原色)から杳調に変更しました。杳調は色の微妙な濃淡が特徴的。優しく自然な風合いが出て特に女性に好まれます。

グレーの色味は以前より赤みを足して、より温かく女性的な雰囲気。寒くて乾燥する冬場をラブヒールで足元から温め潤してください。



## Editorial Note

足の力を最大限に引き出す足袋型トレーニングシューズhitoe、顔の大きさや形に合わせてフィットする一体型のプリーツマスク。これらの商品を集めて取り上げて、ホールガーメント横編機が可能にした「無縫製」の価値を改めて感じました。

トレーニングシューズやマスクでは、ちょっとした縫い目や凹凸が機能の低下や着け心地の悪さにつながります。つまり、無縫製の価値は、人間のなめらかな肌に近い製品を作ることによって体現できるのです。そこにニットの大きな可能性があると私は信じます。「ならばこんな製品を一緒に作れないか」。お気軽にお声がけください。(大宮裕美)

## Credit

編集・執筆・撮影・発行 石川メリヤス株式会社  
Art direction & Design 相田貴子 (Consulting Design Tokyo)  
写真提供 株式会社 丸五、渦 -uzu-

2020年11月発行

## 冊子名『サイコロ』とは

「メーカーの基本は何よりも品質」。  
初代社長の想いが込められた創業以来の作業用手袋「サイコロ印」のブランド名から名付けました。  
本冊子では、この精神を守りつつ、石川メリヤスの「いま」をお伝えします。

商品問い合わせ&注文先

## 石川メリヤス株式会社

〒444-0515 愛知県西尾市吉良町富好新田紺屋堀 27-2  
TEL 0563-32-0420 FAX 0563-32-3066  
E-mail [info@ishimeri.com](mailto:info@ishimeri.com) URL <https://ishimeri.com>